

歩行者通行量の増加に資する事例

【北海道富良野市 人口：20,259人（令和4年度） 計画期間：平成26年11月～令和2年3月】

成果

【歩行者通行量】

基準値 2,690人（H25）→**3,790人**（H29）

事業概要

【東4条街区地区第一種市街地再開発事業】 【フラノコンシェルジュ整備事業】

東4条街区地区市街地再開発事業…日常生活に必要な様々な機能と居住空間をまちなかに集積し、お年寄りや一般市民が歩いて用がたせる利便性に富んだ市街地を創出する事業。

フラノ・コンシェルジュ整備事業…空き店舗ビルを取得し、来街観光客及び市民に対しての中心市街地商店街コンシェルジュ機能を核として、美瑛・富良野ブランド観光圏コンシェルジュにも対応させ、各階層には、商店街イベントスペース、バックパッカータイプ宿泊施設、新規起業商業者及び富良野ネットオフィスなど商業支援機能等オフィス、キッズ室内多機能広場を配置する事業。



＜ネーブルタウン＞



＜フラノ コンシェルジュ＞

【活用した支援措置】

- ・社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）（国土交通省）（平成21年度～平成26年度）
- ・特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定（経済産業省）（平成28年度～平成29年度）

取組のポイント

・東4条街区地区第一種市街地再開発事業により複合型商業施設、市立保育所、全天候型多目的交流空間などを有する「ネーブルタウン」が完成し、市民が日常的に足を運ぶ『生活街』として機能している。

・ネーブルタウンに整備された全天候型多目的交流空間「タマリーバ」では、平成29年度は計43回のイベントが実施され、これらのイベントで15,000人の集客があったことから、このような集客がまちなか回遊を下支えしているものと考えられる。

【富良野市概要】

